



# パワー

(電力・動力)

2006

春

株式会社 **ホンマ電機**  
情報紙51号

発行所  
株式会社 ホンマ電機  
神奈川県相模原市上鶴間1丁目12-1  
電話 042(746)1616(代)  
ホームページ **ホンマ電機** 検索  
発行責任者 本間 俊三

# 勿体ない、まだ使える中古家電

## マーク変わっただけ？電気用品安全法に困惑

今年四月より実施される電気用品安全法（電安法）の販売規制が波紋を広げています。平成十三年以降製造の製品には全てPSEマークをつけることになりましたが、猶予期間五年を迎えたこの四月からは、冷蔵庫・洗濯機・テレビなどでPSEマークのない中古家電の販売・流通が出来なくなります。

### 電安法とは

電気用品安全法は、従来の電気用品取締法が大幅に改正され、平成十三年四月より施行されました。主な改正点は、安全性の確保を従来の国の指定機関から民間の第三者機関へ移し、新たにPSEマークの表示を義務づけたことが主なものです。

### 経済活動に与える影響

中古家電のリサイクル業者にとっては、平成十三年以前の製品を販売できなくなるので死活問題となることから、リサイクル業界に困惑

電気用品に付されている表示	
<p>特定電気用品</p>  <p>実際は上記マークに加えて、認定・承認検査機関のマーク、製造事業者等の名称（略称、登録商標を含む）、定格電圧、定格消費電力等が表示される</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●電気温水器</li> <li>●電熱式・電動式おむちや</li> <li>●電気ポンプ</li> <li>●電気マッサージ器</li> <li>●自動販売機</li> <li>●直流電源装置</li> <li>など全112品目</li> </ul>	<p>特定電気用品以外の電気用品</p>  <p>実際は上記マークに加えて、製造事業者等の名称（略称、登録商標を含む）、定格電圧、定格消費電力等が表示される</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●電気こたつ</li> <li>●電気かま</li> <li>●電気冷蔵庫</li> <li>●電気歯ブラシ</li> <li>●電気かみそり</li> <li>●白熱電灯器具</li> <li>●電気スタンド</li> <li>●テレビジョン受信機</li> <li>●音響機器</li> <li>など全338品目</li> </ul>

PSE:P及びSはProduct Safety、EはElectrical Appliance&Materialsの略

### 電気業界、事業者らの義務

電気用品の製造・輸入販売を行うものは、PSEマークが付された用品でなければ、販売や陳列してはならないと定められ、電気事業者や電気工事士は、PSEマークのないものを電気工事で使用してはならないとされ

## 2006年頭 あいさつ

代表取締役 本間 俊三

早いもので平成十八年も三ヶ月が過ぎました。この間にも大きなニュースや話題が次々とマスコミを賑わしました。明けてもまもなくライプドアの証券業法違反事件、国会の権威や信用をも揺るがしかねない偽メール事件、昨年に続いてのマンション・ホテル耐震強度偽装事件。

## 登場人物は 騙した人と騙された人

これらの事件や犯罪から、多くの教訓を学ぶことが出来ますが、共通点のあることにも気が付きます。登場人物に騙した人と騙された人がいることです。

ライプドア事件では、堀江氏らの会社幹部が社会を欺き、結果として多くの個人投資家に被害を与えました。国会では永田代議士が

### 問題点

ここに大きな問題点を指摘したい。法が施行された平成十三年前とそれ以降で、安全性を検査する「適合性検査」の基準が厳しくなったかと言えは必ずしもそうではない。国の指定検査機関から民間の第三者機関に変わっただけです。つまり安全性にそれほどの変化はなく、ただ単に新マークの表示がないだけで流通できなくなった、と言えないでしょうか。民間検査機関を役人の天下り先にしてはならないと思います。



PSEマークが付されていない洗濯機

「安心して暮らせる環境」をテーマに環境講演会が二月十四日、相模原産業会館で開催されました。主催は女性の奉仕団体・国際ソロプチミスト相模です。財オイスカ会員として活動している本間俊三社長は、東京電力相模原支社渡辺隆副支社長らと環境について講演。また、(財)オイスカの小林孝雄氏、吉田俊通氏が講師として「世界中の、相模原のことも達の未来に向けてできること」と題して講演。観客は熱心に話に聞き入っていました。



ソロプチミスト相模の講演

## 本間社長環境講演会で語る



④7 近況報告



このイメージマークはサービスマークとして登録されています。

## 本間としぞうの会・バス旅行

「本間としぞうの会」では四月十一・十二・十三日、NHK大河ドラマ「功名が辻」でお馴染みの「千代と豊」ゆかりの地「掛川」を訪れる日帰りバスツアーを行いました。昨年観覧バスツアーでは、五〇人という多くの方々に参加され楽しい催しとなりました。今年は戦国時代絵巻を観光し、物語への理解をより一層深められることを期待しています。



近世掛川城を築いた山内一豊と妻の千代



掛川城天守閣

# 本間としぞうの会・新春の集い

「本間としぞうの会・新春の集い」が一月二十二日、グリーンホール相模大野多目的ホールで賑やかに開催されました。相模原市の各界から来賓を迎えておよそ六百人が集い、本間としぞうの新たな年の活躍を期して祝いました。

開会に先だって祝いの太鼓の音が鳴り響き、中和田・谷口地区のお囃子保存会による伝統芸能祭囃子が華やかに披露されました。

「来賓（議員関係）」には、あかま二郎衆議、亀井善之衆議、甘利明衆議、小林温参議、佐藤賢司市議、小俣旭市議、川田基晶市議、川上一行市議、沼倉孝太市議、須田毅市議、中村昌治市議、阿部善博市議、大塚信彰町田市議会議長らが出席されました。

来賓挨拶 あかま二郎衆議が「昨年九月の衆議院議員選挙では本間先生に大変お世話になり、相模原南部の支持を大きく広げて頂いた。



中和田・谷口地区の囃子連による伝統芸能祭囃子で開会



チャッピーの美川憲一のものまね

今、国会議員の立場になって、初めて体験することも多く勉強中ですが、県会での経験を生かし、「日も早く役に立つ議員を目指して頑張ります」と挨拶。佐藤賢司市議は「本間氏



かくも大勢の人々が集い、本間としぞうの新年の活躍を期して乾杯

あった。町田市のイメージアップにも繋がるので今後も連携して取り組みたい」と語りました。来賓挨拶の後、江成金作建築（株）の江成社長が音頭で乾杯、懇親会に入りました。懇親会では、チャッピーによる美川憲一のものまねで会場は大爆笑。支援者の一人、山本氏の作詞作曲による選挙節を皆で合唱、楽しかった宴を閉じました。

## 相模原おもしろ処紹介

相模原市役所通りから1分、産業会館裏手に「ダチョウ料理」の店があります。相模原の牧場ですくすく育った「ダチョウ」の肉を様々なアレンジした料理は、ヘルシーで味わいもいろいろ楽しめます。是非一度試食してみてください！  
予約：751-2221



ダチョウ料理の店 中甚

## BUSINESS フィールド

### 鵜野森 林邸 エコキュート設備と節減

築十五年を経過した林邸では、ご家族が環境に配慮した住宅に関心を持たれたこと、安全で安い光熱費をも求めて、当社に問い合わせがありました。

環境への配慮の意識が高い奥様にとって、これまでもお風呂や台所の給湯を灯油、調理の熱源はガス、冷暖房や照明は電気と使い分け、光熱費はそれらの合算でした。

エコキュートの安全性と便利さ清潔さ、特に給湯コストの低減を上げられ、光熱費の削減に驚かれた。お風呂や台所で使う湯を沸かして貯めるタンクです。熱効率の良いヒートポンプストの低減に驚いています。更に、灯油補給の必要が無

何が出来るかという模索されました。ゴミを分別して出来る限りリサイクルに回すとか、電気・水道などの無駄を省くなど思いつくことは試みられたそうです。しかし、家庭内での消費

「提案」 給湯はエコキュート、調理の熱源はIHクッキングヒーターを採用。

「三ヶ月後の奥様の感想」



エコキュートの設備

## ● 企業ルポ ● お客様紹介 (50)

### 相模楽器株式会社

本社 大和市南林間2-1-13 ☎ 046(274)1050

代表取締役 佐藤仁士氏

音楽教室(音楽センター) 相模大野・東林間・中央林間 南林間・横山・他5センター



グランドピアノなど様々なピアノが陳列されている美しい店内



親子そろって楽しみながら育むヤマハ音楽教室

#### 相模楽器株式会社

- ・創業 昭和41年8月
- ・資本金 1千万円
- ・代表取締役 佐藤仁士氏
- ・年間売上高 5億8千万円
- ・事業所数 店舗3・音楽教室10
- ・従業員数 社員14名・パート31名
- ・事業内容 音楽教室、楽器・楽譜・防音室の販売、英語教室、ピアノ調律修理

相模原では数少ない楽器店を運営して40年。「美しいものへの憧れと本音で出来る事業」として31歳で創業。「齢を重ねても尚、選択は正解であったとの思いを深くしています」。民俗学の京都学派に興味を抱く佐藤社長は「ピアノや音楽は心を豊かにし、精神状態に有益です。孔子が音楽を教養の第一番に上げています」と話されます。相模原市の横山店となっている創業の地から平成3年に本社を移転。南林間から通う多くの社員の

便宜をはかるためとか。運営の目標に従業員の質の向上や生き甲斐を掲げ、「これがあれば事業は順調です」との、社長の社員への心配りに納得させられるものがあります。昭和40年代は日本経済の発展途上で生活も豊かになり、ピアノなどの楽器販売は好調を極めました。しかし、現在の少子化時代を迎えて楽器の売上高はピーク時の1/10に減少。替わって音楽教室が売上高の60%を占めるに至りました。

音楽教室は相模原市と大和市に多く、愛川、城山、瀬谷にもあり、生徒数は約3500人。ヤマハ音楽教室(システム集団教育)と、個人レッスン(ピアノ・ヴァイオリン・フルートなど)に大別されます。ヤマハ音楽教室では、ヤマハのハイレベルのソフトと優秀な先生により高い効果を上げています。幼少時から教育が功を奏しているのです。

「いかに良い生徒を育てるか」が最大の企業方針。「質を日本一に」と同社の高い質の指導に自負が窺えます。同社では今、相模楽器ピアノコンクールの企画を来年に向けて準備中です。コンクールのデメリットよりメリットを期待して「遠大な社会貢献」を目指しています。将来このコンクールが、全国の音楽を学ぶ若い人達の注目をを集める時が来るかも知れません。ホンマ電機では、各音楽教室のエアコンや電気配線、電気系統のメンテナンスに係わって15年になります。



楽しい指導で自然に音が身につく